

こだま俳壇 10月

残照を総身に浴びて柿すだれ	田中 一男
寺の庭落ち銀杏をひとつ踏む	島田多嘉子
野良猫のねぐらゆたかな草紅葉	中村 桂子
白濁の湯に紅葉の散りにけり	友井 眞言
冷気満つ坑道なんと千余キロ	角田 英昭
藪の中スポットライトの天狗茸	常世田芳子
三分の診察終えて初紅葉	鳥海 敏雄
赤まんま舗装の端にひよろり咲く	柳瀬 節子
石積みにすすきが光る露天風呂	瀧澤 正行
薄紅葉雨傘の波揺るぐデモ	木村 武子
鉾毒で亡びし村や萩の花	松尾佐知子
きのご飯姉を囲みてつどう夜	本山 文子
この川をのさばり泳ぐぼらの群	後藤 貞夫
毒茸食べし話を面白く	講師・太田 土男